

令和4年度 第7回春日区地域協議会 次 第

日時：令和4年10月26日(水) 午後6時30分から
会場：上越市市民プラザ 第2会議室
全体会 1時間15分

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 報告事項

【20分】

- 春日山荘の趣味講座について

(2) 自主的審議事項

- ・ 春日山城跡の観光振興策について (観光分科会)
- ・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について (安全・安心分科会)
- ・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について (福祉分科会)

- 1) 情報交換会の内容について

【15分】

- 2) 各分科会からの報告内容について

【30分】

(3) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 令和4年 11月15日(火) 午後6時30分 から
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 (自主的審議事項)
※ 閉会后、分科会を開催

(2) その他

5 閉 会

春日地区町内会長との情報交換会

次 第

日時：令和4年11月 日()午後6時30分から

※11/24(木) または 11/29(火)

会場：上越文化会館 4階 大会議室

延べ1時間15分

1 開 会

(1) あいさつ

- ・ 春日区地域協議会長 太田 一巳 【3分】
- ・ 春日地区町内会長連絡協議会 会長 佐藤 幸治 様 【3分】

(2) 出席者紹介（事務局） 【10分】

➤ [事務局] 出席者の職と氏名を紹介する。（委員 → 町内会 → 事務局）

2 議 題

(進行：太田会長)

(1) 説明

① 本日の情報交換会について 【10分】

- [事務局] 地域協議会、自主的審議、本日の趣旨について説明。
- [町内会長] 質疑（主に事務局が応答）

(2) 情報交換

① 分科会の取組について 【10分×3=30分】

- [リーダー] テーマごとに経過や今後の見通し、町内会にお願いしたいこと等について説明。
 - 1) 観光分科会
 - 2) 安全・安心分科会
 - 3) 福祉分科会

➤ [町内会長] 質疑（内容を踏まえリーダー等及び事務局が回答）

② フリートーク 【15分】

➤ [全 員] 情報交換

(例)

- ・ 各分科会からの提案内容について
- ・ その他地域における課題/地域協議会に対する意見 など

* 本日は結論を出す会議ではありません。地域協議会からの提案について、12月の町内会長連絡協議会の会議で意見交換を行い、対応を整理される予定となっています。

3 閉 会

(1) あいさつ

- ・ 春日区地域協議会副会長 田中 裕子 【2分】

(案)

情報交換会でのリーダー説明資料

春日区地域協議会 自主的審議の取組について

分科会名称	観光分科会	安全・安心分科会	福祉分科会
審議テーマ	春日山城跡の観光振興策について	安全・安心に暮らせる春日区とする方策について	あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について
これまでの審議経過	<ul style="list-style-type: none">市（文化行政課・観光交流推進課）からの情報収集春日山城跡等現地視察	<ul style="list-style-type: none">上越市防災士会長からの情報収集アンケート調査（防災士資格者、災害対応資器材）	<ul style="list-style-type: none">町内会活動に関する実態調査活動団体からの情報収集具体的な取組内容の検討（いきいきコンサート、ニュースポーツ等健康増進活動）
今後の審議内容・見通し	<ul style="list-style-type: none">活動団体との意見交換先進地視察春日山城跡の観光振興に関する提言書（意見書）の作成・提出	<ul style="list-style-type: none">防災士資格保有者との意見交換「上越市防災士会春日支部」の設置市担当課からの情報収集防災士会と連携した訓練メニューの企画・例示	<ul style="list-style-type: none">活動団体との意見交換活動団体への提案
町内会にお願いしたいこと等	<ul style="list-style-type: none">春日地区、高志地区における春日山振興の機運を高めるため、必要な取組についてご意見をいただきたい。意見書の素案を作成したので、ご意見をいただきたい。	<ul style="list-style-type: none">防災士会春日支部が設置された際には、防災士の知見をいかした防災訓練等を実施していただき、地域の防災力向上に取り組んでいただきたい。	<ul style="list-style-type: none">地域の高齢者が小中学生や大学生とともにつくる「いきいきコンサート」を春日区全体の事業としていただきたい。健康づくり活動のサポート体制があるため、積極的に活用していただきたい。

(案)

春日山城跡を中心とした観光振興に資する事業の具体的な資料

1. 市民が憩える春日山フラワーパーク整備事例

- ・大手池公園のアジサイ植栽：地域活動支援事業で実施



- ・ものがたり館の監物堀に咲くカキツバタ。これを過去の監物堀全体に植えて、遊歩道を整備する。



6. 大型バス駐車場の整備

- ・春日山旅館の東側にあり、団地埋め立てのため山が削られ荒地になっている。ここを大型バスの待機所に整備する。



(案)

春日地区町内会長連絡協議会への事業提案

2022年10月26日

春日地区地域協議会 福祉分科会

先ず、標記事業提案に至った経緯の背景について説明いたします。

令和4年度に地域協議会が、自主的審議事項として①観光分科会と②安全・安心分科会、③福祉分科会の3部会に分かれて活動しており、私達福祉分科会は、「あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について」のテーマに取り組むうえで、「町内会そのものの活性化」が重要であるとの認識で春日地区19町内の内13町内の実態調査を実施させて頂きました。

その調査内容は、人口・世帯数・町内予算規模、役員数と担当業務、町内の年齢構成(新生児(6.7%)・小中高生(12.5%)・青年(24.0%)・中高年(33.9%)・前期高齢者(12.6%)・後期高齢者(10.3%))、世帯人口、町内で実施されている月別行事内容、住民把握に結び付く町内住宅地図配布有無や発行頻度、町内の各種活動部会(子供会・敬老会・消防団・青年会)等や町内の広報誌の発行有無や発行頻度等の調査を実施させて頂きました。

調査して感じた事は、町内の規模や年齢構成差や歴史の違いが有り、各町内会が行事運営に大変ご苦労されている事を感じました。特に町内役員の任期が2年交代の所が多くあり、3年間も続くコロナ過で今迄の行事が旨く引継ぎできるかの課題を抱いておられ心配されている事も解りました。

町内会行事で全般的に活動に力を入れている行事は、「祭り(子供・夏)=親睦・交流」

「健康=健康づくり教室」、「スポーツ=綱引き・ファミリーソフトボール・青年野球大会・ゲートボール大会・バレーボール大会」、「防災・防犯」、「敬老会」 等多くの住民が参加する活動が全体の8割を占めています。

今後益々少子高齢化が進み、住民の関心は、人生 100 年時代と言われている様に「健康づくり」、人とのふれあいの「コミュニティ」による親睦、交流が求められている時代と感じています。

私達福祉分科部会としてももう少し視野を大きく広げて春日地区(19 町内)は、人口約 21,000 人、世帯数約 7,500 世帯と上越市地域自治区 28 区で、春日区の人口は、約 11%を占める大きな地区である中で、福祉分科会のテーマである「あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とするコンセプトにふさわしい活動をされている中で、上越市第7次総合計画で平成 17 年度(2005 年)から令和 11 年度までの 25 か年を計画期間とした。人口が、令和 2 年 188,047 人が、10 年後の令和 12 年には、172,017 人と推計されています。(今後 10 年間で約 16,000 人減、8.5%減、春日地区も 65 歳以上が 30%を超える。)

春日地区町内会長連絡協議会が、行っている各事業も、少子高齢化が進み、お祭りの神輿担ぎや神輿の引き回し、野外スポーツ・綱引き等の人員確保も難しい時代になる中で、住民間の世代を超えた人的交流の必要性を感じています。

地域の身近で活動されている「いきいき春日野」さんの「ふれあいコンサート」を本年 6 月 18 日に上越文化会館で第 16 回目が開催され 1,500 名収容できる会場にコロナ過でも 740 名の方が視聴され年々地域の皆さんに周知され発展して来ている状況に非常に興味が惹かれました。

このコンサートを主催している、いきいき春日野の役員さんと支援されている春日野町内会長と私達福祉部会が、頂いた構想提案内容について意見交換会を 8/22 実施

致しました。

ふれあいコンサートは、音楽で地域をつなぐことをコンセプトで「地域と学校を音楽でつなぐ」をテーマに毎年開催されて来ている。

共催として「春日中学校」後援として「上越市教育委員会」と「上越教育大学」、からもご支援頂いている。

活動による効果については、春日小学校、高志小学校の特設音楽部、春日中学校合唱部、吹奏楽部、上越教育大学混声合唱団、吹奏楽団らが参加され、小学生から大学生まで幅広い世代の子供達が、奏で上級生が下級生の指導して頂く事で演奏技術向上や人的交流に繋がっているし、コンサートには、演奏されている家族は勿論、音楽に興味をお持ちの世代の人達も幅広く多くの方が視聴されていました。

音楽は、精神的にも良く気分的に癒されると言われています。

このような活動をより多くの人達に知って戴き、春日地区全体の文化的事業として発展継続するには、いきいき春日野さんが会長を含む役員の高齢化や組織体制を強化する為に現状を如何に継続発展させるかの課題解消として、春日地区 19 町内を取り纏めている春日地区町内会長連絡協議会の 1 つの特別部会として組み入れて頂き、コンサート開催については、演奏を行って頂く学校の学長・小中学校の校長・PTA会長始め、上越教育委員会・19 町内会長様に出席して頂く様にする事で、春日地区が、一体になって行っている事を広く知って頂く配慮や、現実活動されて来た「いきいき春日野」の役員任期も継続出来る体制とすれば、音楽文化活動のコンサート(名称:「いきいき春日野」➡「いきいき春日」)の引継ぎが、旨く出来れば、地区の 1 つの文化的イベント(祭り)としての恒例行事にする事で更に、春日地区の人的交流の輪が広がる相乗効果に結び付くと考えます。そして地域の活性化となると思います。

是非ご検討願えないかと事業提案させていただきます。

又、福祉分科会としてもう1点として「健康づくり活動を通じた地域の活力向上」について実態調査から身近な町内会館で高齢者が楽しめて健康づくりに結び付く「ニュースポーツの制度」についての知らない役員さんが居られる事も解りました。(制度がある事を浸透されていないと感じました。)

上越市にある制度でニュースポーツに必要な器具の無料貸出や講師の無料出前派遣して頂ける制度について知られていない事が調査によって判明した。

町内健康リーダーさんの任期が1年毎に交代される事で、引継ぎが旨くなくされていないと思われましたので、その点の解消についても、町内会長連絡協議会で体育行事担当役員さんへ年1回の講習会開催を市に依頼される事も検討して頂く事を提案します。尚、健康づくりリーダー制度は、昭和60年3月(1985年に町内会長の意見で誕生した)から引き継がれて来た制度です。

以上

2022年10月26日
福祉分科会 吉田義昭